

第16期における公民館の市民へのPR活動について議論内容まとめ

第1回

【「公民館まつり」の開催について】

西東京市のように「公民館まつり」を開催し、利用者の公民館活動の発表や相互の交流などを行い、公民館をアピールしてみてもどうか。

→公民館まつりを開催するとなると現在社会教育課が主管している市民文化祭（主に公民館で活動している団体が多く参加している）との関係等、今後検討していく必要がある。

【地区館の活性化について】

地区館の職員が減員し地区館の元気がない。PR方法は様々あるが、市民の方が公民館を知り、足を運んでもらえるようにしたい。

【地域との連携について】

公民館は地域との連携が大切である。例えば、

- (1) コミュニティバスの公民館経由
- (2) 事業企画員制度（年代別の事業を検討する。公民館主催事業の量や質の低下が利用者の減少の原因になっている可能性有）
- (3) 夏休み（公民館を利用した勉強会）に、学校を巻き込んだ事業

第2回

震災のため中止

第3回

議論なし

第4回

【利用率について】

各時間区分・施設の利用率の把握をし、低利用のものについては対策を講じることとする。特に利用率の低い午後Ⅱの時間帯についてデータ分析の上、重点的に考える必要がある

【使用料を修繕費に】

有料であるからには利用者の満足度を向上させるため、空調設備等、施設の改善を行うべきである。使用料を修繕費に充てられないか

【時間区分の変更について】

小中学生の居場所作りとして3区分の利用時間を4区分へと変更した経緯があったが、児童館やふれあいセンターの設置に伴い、公民館の役割が分散化している。利用率を考慮すれば、3区分に戻すことも検討する必要がある

【空き部屋の開放について】

フリースペースとして空き部屋を開放し、恩多ふれあいセンターのように高校生の居場所作りができるかどうか検討する必要がある

第5回

【午後Ⅱの役割について】

午後Ⅱ（午後3時40分～午後6時40分）の時間区分における利用率は統計上からも低いのが確認できるが、だからといって午後Ⅱを廃止するということにはならない。午後Ⅰが人気の時間区分であるため、その時間区分の抽選予約で落選したサークルがセーフティネットとして利用している現状があるからである。

【中央公民館料理教室の時間区分について】

現状の4つの時間区分（午前・午後Ⅰ・午後Ⅱ・夜間）では、料理教室が使用しづらいと利用者から声が上がっている（午前のみでは食事・後片付けができず、午前・午後Ⅰの2つを利用すると、午後3時20分までは必要がないため）。料金・時間含め、利用者が利用しやすい体系への改善を検討すべきである。